



発行
令和6年2月15日

日本学校農業クラブ
東北連盟

事務局
岩手県立盛岡農業高等学校
〒020-0605
岩手県滝沢市砂込1463
TEL 019-688-4211

東北連盟成人代表挨拶



岩手県立盛岡農業高等学校
校長 菊池 郁聡

今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、学校には通常の教育活動が戻ってきました。東北連盟における農業クラブ活動もすべての行事が、それぞれの実施担当校のご尽力により予定通り実施されました。ご協力いただいたクラブ員の皆さん、先生方に厚く感謝申し上げます。

特に8月に行われた東北連盟大会は、来年度、岩手県で開催される第75回日本学校農業クラブ連盟全国大会岩手大会のプレ大会として実施しました。来年度は全国各地から多くの生徒・教職員をお招きし、総勢5,000人規模の大きな大会となります。岩手県はもちろんですが、東北各県の生徒・教職員の皆さんにもご協力をいただくことになると幸いですので、よろしくお願いたします。

さて、第74回日本学校農業クラブ全国大会熊本大会においては、プロジェクト発表会分野I類(生産・流通・経営)で宮城県農業高等学校の「#ZEROマイブラ革命」が昨年度に引き続き最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞したのをはじめ、多くの発表会や競技会において多数の入賞を果たし、東北連盟のレベルの高さを示してくれました。受賞された皆さん、おめでとうございます。今後もさらにクラブ員が連携を深め、日々切磋琢磨をしていくことで、来年度の全国大会岩手大会でも東北連盟から多くの日本一や入賞者を輩出できればと期待しております。

さて、我が国の農業を取り巻く情勢は、人口減少や少子高齢化による担い手の減少、国際情勢の不安定化に伴う農業資材等の価格高騰や、技術革新によるデジタル化の一層の進展など、大きく変化しています。そうした中、意欲的な若者が農業を力強く支え、明日へつなげる農業を展開することが求められています。

その中で、農業教育の実験実習を中心とした体験的な学習では、試行錯誤を重ねること、協力をすること、時には競い合うこと、お互いコミュニケーションをとること、そしてその成果を表現することなど、これらの一連の取組を通して、社会が必要となるスキルの基礎・基本を身につけることができます。また、動植物を教材とすることで「命の尊さ」、「食の大切さ」、「自然の神秘」など多くのことを学びます。これらの学習を重ねることによって豊かな感受性と生命を大切にしている態度が自然に養われ、人間として大きく成長することができると考えています。

そのような農業学習の環境を最大限に生かし、東北連盟約8,500名のクラブ員には、これまでの先輩方が培ってきた伝統を大切にしていこうと、お互いの絆を深め、やがて東北を日本を支えていく仲間となって将来に羽ばたいていくことを期待し、挨拶いたします。

東北連盟会長挨拶



岩手県立盛岡農業高等学校
三年 高橋 里菜

岩手県連盟は、今年度開催の東北連盟大会の運営ならびに、来年度開催の日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会の準備を担う大きな年でした。その中で会長を務めさせていただき、非常に責任を感じていました。活動が始まる前は、私に務まるのだろうかと思わず不安でした。しかし、5月に東京で行われた春季代表議員会で初めて東北連盟の代表員の皆さんとお会いしてコミュニケーションがとれたこと、お互いに「仲間」である自覚を持つことができたことを機に東北連盟の仲間と共に農業クラブを築き上げていくという活力が湧きました。5月に本校を会場に行った第一回東北連盟代表議員会では、各県連盟の代表員、顧問の先生方のご協力により活発な会議にすることができ、有意義なものになりました。新型コロナウイルス感染症の緩和により、対面での交流の機会を多く持つことができたことは何より貴重で実り多かつたと思います。

また、東北連盟大会の大会式典においては前日のリハサルから代表議員、顧問の先生方にはご協力をいただき、本番も大変緊張感のある中で成功させることができました。私が会長を務めさせていただく中で、東北連盟の仲間や顧問の先生方、皆さんのお力添えによる支えとなりました。経験させていただいたこと全てが私にとって宝物です。大変ありがとうございました。

青森県連盟会長として



青森県立柏木農業高等学校
三年 葛西 美風

県連盟会長になったときは、嬉しさと県の代表という責任を感じ不安もありました。新型コロナウイルスが5類に引き下げになり、クラブ員は主体性を持ち行事に携わることができました。リーダー研修会や県大会では対面で行うことができ、クラブ員同士の交流が多く見られ様々な意見を交わすことができました。とても勉強になりました。全国大会では、東北大会を勝ち抜いたクラブ員やチームが各競技に力を注ぎ、素晴らしい成績を残してくれました。

この1年間の農業クラブ活動を無事に終えられたのは、クラブ員だけでなく先生方や関係者の皆様のおかげです。来年度も東北連盟、青森県連盟の更なる発展を願っています。1年間本当にありがとうございました。

岩手県連盟会長として



岩手県立盛岡農業高等学校
三年 高橋 里菜

岩手県連盟会長として会議や研修会に参加した中、各校のクラブ員の声にたくさん耳を傾け学びを得ることができました。その中で、自分たちの考え方が更新され、より良い活動にしていこうと手立てを考え、私自身、様々な交流の機会から新たな気づきや多くの発見ができたことから、クラブ員同士の交流や繋がりは今後も大切にしていきたいと考えました。来年度開催される令和6年度岩手大会に向けて積極的に交流の機会を設けることでクラブ員同士が切磋琢磨し合い、大会の成功へと繋げていってほしいと思います。先生方やクラブ員の協力を賜り、務めさせていただいたことに感謝しています。大変ありがとうございました。

秋田県連盟会長として



秋田県立大曲農業高等学校
三年 佐々木 夏妃

今年度、秋田県連盟会長を務めさせていただき、東北、全国の多くのクラブ員と交流することができました。このような機会を与えていただき感謝しております。特に印象に残っていることは、代表議員会で各県連の代表者と交流できたことです。また、農業クラブのコロナウイルス5類移行に伴い、各種発表会をはじめとする県連事業も単位クラブの協力や先生方の御指導でコロナ前と変わらぬ規模で開催できたことが何より嬉しかったです。次年度は秋田県が東北連盟大会を運営します。全国大会岩手大会を成功させるためにも秋田県連盟の手腕が期待されています。今後の東北連盟大会の益々の発展を願っています。

宮城県連盟会長として



宮城県小田原農業高等学校
三年 千葉 妃乃

今年度、宮城県連盟の会長を務めさせていただき、代表議員会や夏季研修会などの行事に参加させていただきました。また、各県連盟会長さん方にはじめとした、たくさんの方の素敵な人たちの出会いがありました。

七月に行われた夏季研修会では、一泊二日の研修を通して役員の皆さんと交流し、他校の取り組みを知るとともに同室のみんなと二晩を過ごし、親睦を深めることができました。また私の学校や県内の学校では行っていない活動を知ることができ、とても勉強になりました。今回の経験を後輩に伝え、東北連盟の繋がりを継承していききたいと思います。

最後に、たくさんの方々の支えがあり、会長業務を終えられることに感謝申し上げます。今後の東北連盟の更なる発展を祈念いたします。

山形県連盟会長として



山形県立置賜農業高等学校
三年 富樫 裕馬

県連盟会長という役割を通して、全国・東北のクラブ員の皆さんと交流することができ、とても貴重な経験ができたと思います。それぞれの単位クラブで特色のあるクラブ活動をしていることを知り、意見交換することは大きな刺激になりました。代表議員会や夏季研修会に参加して得たものを、学校に戻ったときに本校のクラブ員や県連のクラブ員と共有することができたと思います。本県は令和7年度に東北大会の事務局となります。今回の経験を後輩に伝え、県連や単位クラブの活動を充実させていくようにしていきたいです。東北連に所属する農業クラブの皆さんの活躍を楽しみにしています。1年間ありがとうございました。

福島県連盟会長として



福島県立会津農林高等学校
三年 佐々木 優奈

私は今年一年間、福島県連盟会長を務めさせていただき、たくさんの方と学ばせていただきました。自分自身とても成長することができたと感じています。会長という大役を務められるかとても不安でしたが、各校の農業クラブ役員や顧問の先生方などの多くの方々に支えていただいたおかげで無事に仕事をやりぬくことができました。

コロナが緩和され東北各県代表の方々と実際に会うことができた。意見交換やコミュニケーションをとることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。久々に一か所に集まり、大会や会議を行うため運営校の皆さんはとても大変だったと思います。本当にありがとうございました。

最後になりますが今後の農業クラブの更なる活躍と発展を願っております。

受賞者
喜びの声
東北連盟大会
最優秀賞



宮城県農業高等学校
三年 河東田 彩花

宮城県農業高等学校の作物部門は、十月に行われた農業クラブ全国大会のプロジェクト発表I類で最優秀賞を獲得しました。東北大会を突破しての全国大会進出には、原稿やプレゼンテーションの改良が欠かせず、先輩方の二連覇のプレッシャーに苦しみました。しかし、練習と協力を重ね、先輩方からの的確なアドバイスのおかげで発表のクオリティを向上することができました。この大会は昨年のリベンジでもあり、昨年のトラブルからの悔しさを晴らすべく、強い気持ちで挑みました。本番当日は緊張と不安に押し潰されそうになりましたが仲間たちの支えと励ましで自信をつけました。発表は楽しく、質疑応答も順調で先生たちの笑顔が印象的でした。結果発表の瞬間は、緊張と不安から解放された。二連覇の最優秀賞に全員が喜びました。この大会を通じて作物部門の絆が深化し、二連覇という難しい目標を達成できたことは、一人ひとりの努力と全力の取り組みの賜物です。先輩方や指導してくれた先生方に感謝の意を表し、高校生活最後の年に素晴らしい思い出を作ることができました。

プロジェクト発表



岩手県立花巻農業高等学校
三年 熊谷 幸乃

私たちが暮らす岩手県で開催された東北大会は、最大の目標である全国大会最優秀賞を達成するための通過点となる重要な大会でした。本番では他校の発表を聞き、私たちがこれを超える発表ができるのかと不安になりましたが、ステージに立った瞬間はそんな気持ちが吹き飛び、くらくらしたと同時に余裕をもって発表することができました。結果発表の際も不安な気持ちは全くなく、最優秀賞を頂けた時には「ここからが本番だ」と強い意志を持って全国大会へ進める、私たちが持つ貴重な経験となりました。最後に企画・運営に携わった先輩と全体的な指導してくださった村上先生、共に研究を続けてきた班員の皆に心から感謝したいと思います。

プロジェクト発表



青森県立五所川原農林高等学校
三年 葛西 陽奈子

全国大会に出場して全国の農業高校生に私たちの活動を知ってもらうことができたのが一番嬉しかったです。練習の成果を発揮し、悔いのない発表ができました。そして、優秀賞という形で評価していただいたことで、活動に自信を持つ事ができました。私たちはリンゴを栽培し、農業の6次産業化に取り組みながら農業高校フードバンクを運営していますが、今回の他校の発表を参考に、研究をさらに発展させていきたいと思います。これからも農福連携で多くの子育て世帯の方を支援し、誰一人取り残さない地域社会の実現を目指して活動していきます！

意見発表



青森県立三本木農業高等学校
三年 森崎 祐世

私は、担当の先生を始め、多くの先生・友人に協力していただき東北大会の舞台に立つことができました。リハサルでは、緊張で第一声がうまく出なかったことを今でも悔しく思っています。その後、練習することと少しずつ出るようになりました。本番は、第一声を上手く出すことができ、緊張がほぐれ「今までの努力は無駄じゃない」と思いながら、夢中で発表しました。結果は最優秀賞で、三農恵拓 期生として受賞することができて光栄です。

今回の大会で他校の発表を聞くことができ、農業の視点を広めることができました。ありがとうございました。

意見発表



福島県立相馬農業高等学校
三年 佐々木 海渡

私は、意見発表東北大会で最優秀賞を受賞することができました。

大会当日、東北大会ということもあり少し緊張もありました。しかし発表順が近づくにつれて集中した状態を保つことができました。実力をしっかりと発揮できたと思います。県大会の最優秀賞から、東北大会までの期間は「いかに相手に伝えるか」という点に着目し、原稿の確認や読み合わせを繰り返して行いました。特に伝えたい部分の強弱や、間の取り方・自分の表現方法など一つ一つを大切にすることが何よりだと考えています。

意見発表は、農業クラブの大会の中でも特殊な競技だと思います。自分一人かつ、自分の経験や意見をもとに相手に伝え競い合うため、内容や表現方法など誰一人同じ発表者はいません。その中で自分の意見をしっかりと相手に伝えることができるような発表を自分の中で作り出していくなくてはなりません。練習を重ね、自分なりの発表に対するこだわりを見つけてからが本番だと思います。

相馬農業高校、福島県代表として、東北の地から最優秀賞を勝ち取ることができ嬉しく思います。ぜひ、来年度以降も福島県に最優秀賞を持ち帰ってきてほしいです。

意見発表



宮城県農業高等学校
三年 鈴木 幸

私は、八月に岩手県で行われた東北大会意見発表会

Ⅲ類で最優秀賞を受賞し、十月に熊本県で行われた全国大会に出場することができました。全国大会はレベルが高く、入賞することはできませんでしたが、苦しかった暗記を克服し、たくさんの方々の前で発表することで「JKの知恵袋」の活動を知っていただけでなく、自分自身の成長にも繋がりととても良い経験がすることができました。「JKの知恵袋」で共に活動した友人、指導・応援してくださった先生方、代表に選ばれた仲間、そして家族。支えてくれた、たくさんの方に感謝してこれからもこの経験を生かして歩み続けたいです。

クラブ活動紹介発表



福島県立岩瀬農業高等学校
三年 熊田 奈々

私は8月25日から2日間わたって開催された日本学校農業クラブ東北連盟大会岩手大会に出場し、クラブ活動紹介発表において最優秀賞をいただきました。私は昨年度も東北連盟大会に出場しましたが、優秀賞に終わらず、とても悔しい気持ちでいっぱいでした。大会が終わってから「来年こそは最優秀賞を取りたい」という気持ちで新しいメンバーと共に練習に励みました。私が力を入れて取り組んだことは発表練習です。昨年度の経験を生かし、工夫を加え何度も練習に取り組みました。録音して聞き返したり、原稿の読み方に注意を向けるなど、二回一回を本番だと思い練習しました。他にも、決められた時間内に読まなければならぬため、読むスピードにも気を付けました。大変ではありましたが、この練習が力となり、本番では練習以上の発表をすることができたと思います。

この大会で最優秀賞という結果を出せたのは、一緒に活動をした仲間や先生、応援してくれた方々のおかげです。仲間と一緒に練習した日々は、かけがえのない時間であり、協調性を育むことができました。応援してくる人の励ましの声やアドバイスは、私たちの活動力になり、本番で力を発揮することができました。高校3年生という最後の年にこのような結果を残せたことをとても嬉しく思います。ありがとうございました。



平板測量競技会



岩手県立盛岡農業高等学校
一年 阿部 空牙

私たちは花巻市で行われた東北連盟大会平板測量競技会に参加しました。先生から平板の扱い方や、巻き尺・ボールの使用法などを1から教えてもらい、数ヶ月間にわたる練習に取り組みました。最初はあまり早く測ることができずでしたが、日々練習を続けることで、少しずつ上達していきまし。県大会では残念ながら負けてしまいましたが、その悔しさをバネに今まで以上に一生懸命練習に取り組んだことで東北連盟大会ではそれまでの練習の成果が出すことができ、自分たちでも完璧だ！と思えるほどうまくいきました。競技結果は最優秀賞を受賞することができ、このことは先生や仲間のおかげだと思っていいます！本当にありがとうございました。

農業情報処理競技会



岩手県立遠野緑峰高等学校
二年 千田 乙華

東北連盟大会は、県大会と違い、各県から選りすぐりの選手が集まっていた。大会前に他県の選手がパソコンで練習しているところを見て、県大会の時より緊張していました。しかし、練習会場の隣には、同じクラスの友人がいてくれたおかげで、落ち着いていた練習が出来ました。競技本番では、必要な資料になかなか辿り着けず、エクセルの問題で、時間を使い過ぎてしまいました。そのため考案文が未完成になってしまいました。また、競技終了後に、エクセルの部分でミスがあった事に気づいてしまい落ち込みましたが、まさかの最優秀賞を受賞できたことは、本当にびっくりで、とても嬉しかったです。ここまで指導していただいた、菊池先生に感謝で一杯です。

家畜審査競技会



岩手県立盛岡農業高等学校
三年 大上 大地

岩手県の代表として東北連盟大会に参加し様々な経験ができました。代表と決まったからには入賞したいと思い、頑張つて牛を見てたくさん勉強してきました。競技自体は県連盟大会と同じような感じでした。今回は牛同士の差が分かりにくく、とても苦戦しました。違いを頑張つて見つけ、東北連盟大会で最優秀賞を受賞することができました。表彰式で名前を呼ばれたときはとても嬉しかったです。東北大会で1位になっても自分が全国大会には出場できなかったことが本当に悔しいですが今回の経験を今後に生かしていきたいと思います。

スローガンの部



秋田県立金足農業高等学校
二年 小西 めぐみ

今回農業クラブ東北連盟大会が岩手県で開催されるということで、東北の高校生のフレッシュさと希望に満ちた姿を最大限に表現しよう、このスローガンを考案しました。

これからの東北の農業を引っ張っていく若者がこの大会から生まれることを願うと同時に個人や学校ごとの出場であつても同じ東北の地で暮らす高校生として共

に東北を盛り上げていこうという思いを込めました。結果に関係なく、それ以上の学びと経験を得られるこの大会がこれからも続くことを願っています。

私の思いをのせたスローガンが、大会に出場した皆さんの背中を後押しできていたらうれしいです。

スローガンの部



山形県立上山明新館高等学校
三年 上村 里緒

私は農業クラブ東北連盟大会が岩手県で開催されることを受け、2年次の授業の中でスローガンを作成しました。スローガンを作るにあたって、授業で「わんこそば」や「南部鉄器」などクラスの皆で岩手県に関するキーワードを出し合いました。私は元々農業の父と呼ばれる宮沢賢治の作品が好きで、宮沢賢治に関わるワードを入れ、大会に出場する選手たちが頑張れるような響きの良いものを作りたいと工夫を重ねました。今回最優秀賞を受賞し、東北大会という大きな大会の一部になったことがとても嬉しかったです。大会のスローガンに選んで頂き、ありがとうございました。一クラブ員としてこれからも農業クラブ活動に貢献していきたいです。

シンボルマークの部



岩手県立盛岡農業高等学校
三年 高橋 里奈

このマークは岩手県のシンボルとも言える岩手山をメインにデザインしました。メインの岩手山には、昔から農作業の目安となっていたワシ形の雪解け、そして様々な種類があるお米を描き、農業クラブらしさを表現しました。そして岩手の農業に関係する宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の鉄道シルエットを描き、より岩手県らしさを表現しました。枠を黒で囲い、赤で線を描くことよってさんさん太鼓をイメージし、伝統をプラスすることでマークに深みをだしました。岩手らしさ、農業クラブらしさを存分に表したマークだと思います。



第74回 日本学校農業クラブ東北連盟大会岩手大会 大会速報

プロジェクト発表会 分野Ⅰ類

最優秀賞	宮城県農業高等学校	# ZERO マイプラ革命	河東田彩花 他
優 秀 賞 (産業教育)	山形県立村山産業高等学校	どうしても8月に芋煮が食べたい！農家日線で考える、山形県産 サトイモの生産・流通の改善に関する取り組み	村山 美夏 他
優 秀 賞	岩手県立盛岡農業高等学校	盛農オリジナルりんどうの開発 ～日本一のりんどう県を維持するために～	佐藤 樹菜 他
優 秀 賞	岩手県立水沢農業高等学校	めんこいバナナを東北の地から世界へ ～寒冷地栽培の確立を目指して～	伊藤 龍来 他
優 秀 賞	青森県立三本木農業恵拓高等学校	高オレイン酸ヒマワリ種子飼料化プロジェクト	村居 尚生 他
優 秀 賞	福島県立福島明成高等学校	福島明成流和牛繁殖経営の確立～健康な子牛は健康な親牛から、地域に役立つ繁殖技術の確立を目指して～	道山 璃空 他
優 秀 賞	秋田県立増田高等学校	秋田てんこ小豆伝承プロジェクト ～生産量確保と産地化を目指して～	阿部 梨奈 他

プロジェクト発表会 分野Ⅱ類

最優秀賞	岩手県立花巻農業高等学校	我らホップ調査隊 ～ルブリンの抗菌力とソーセージ開発に関する研究～	千田 玲那 他
優 秀 賞	福島県立会津農林高等学校	持続可能なコメ栽培 ～サステナ農業はおらほから～	岩澤 陸人 他
優 秀 賞	岩手県立花巻農業高等学校	米の需要拡大を目指して ～米粉でひろがるパン食生活～	阿部 莉佳 他
優 秀 賞	宮城県農業高等学校	桜が紡ぐ笑顔の輪	原田 昌汰 他
優 秀 賞	山形県立新庄神室産業高等学校	ご当地パンの開発に向けた取り組み ～新庄市で愛される商品を目指して～	安達 心優 他
優 秀 賞	秋田県立大曲農業高等学校	ひきだせ！新資材ヘラクレス堆肥のω(わげん)の可能性 ～生産性と持続性を兼ね備えた農業を目指して～	小野 海心 他
優 秀 賞	青森県立名久井農業高等学校	シン・緑育心～小さな生物が創る大きな可能性～	切無澤真斗 他

プロジェクト発表会 分野Ⅲ類

最優秀賞	青森県立五所川原農林高等学校	津軽の子育て応援します！ 持続可能な農業高校フードバンクの運営に関する研究	葛西陽奈子 他
優 秀 賞	岩手県立花巻農業高等学校	未来の食卓に彩りと笑顔を！ ～花巻産ゴールデンベリーの普及を目指して～	伊藤 颯希 他
優 秀 賞	岩手県立盛岡農業高等学校	超高齢社会に夢と希望を ～園芸の魅力を地域の特別養護老人ホームに発信～	武田 柚姫 他
優 秀 賞	秋田県立大曲農業高等学校	色とりどりにサキホコレ！秋田の魅力 ～米粉と食用花による地域活性化計画～	今仲野乃佳 他
優 秀 賞	福島県立修明高等学校	Shumei! SDGs 持続可能な野菜栽培の挑戦 ～農業資源活用から地域農業活性化について～	鈴木 美咲 他
優 秀 賞	山形県立庄内農業高等学校	私たちの地域活性化プロジェクト「庄農うどん大作戦！」	五十嵐香奈 他
優 秀 賞	宮城県農業高等学校	Jフレジット革命	平間 優希 他

農業情報処理競技会

最優秀賞	岩手県立遠野緑峰高等学校	千田 乙華
優 秀 賞	宮城県小牛田農林高等学校	佐々木 纏



第75回日本学校農業クラブ
全国大会令和6年度岩手大会
マスコットキャラクター
いわて「わんこきょうだい」

スローガンの部

最優秀賞	秋田県立金足農業高等学校	岩手で発掘未来の原石 花咲く希望で輝く農フヘ	小西めぐみ
最優秀賞	山形県立上山明新館高等学校	今奮い立て！イーハトーブの地に集いし者よ	上村 里緒

シンボルマークの部

最優秀賞	岩手県立盛岡農業高等学校	高橋 里奈
------	--------------	-------

意見発表会 分野Ⅰ類

最優秀賞	青森県立三本木農業恵拓高等学校	エコフィードの可能性と有効活用	森崎 祐世
優 秀 賞	宮城県小牛田農林高等学校	祖父と父の意志を受け継いで	千葉 妃乃
優 秀 賞	秋田県立金足農業高等学校	理想の農業で秋田を大金持ちに	伊藤 矢姫
優 秀 賞	山形県立庄内農業高等学校	わが家の経営プラン～小麦導入への道～	横山 真人
優 秀 賞	岩手県立盛岡農業高等学校	私が目指す農業のかたち	馬場 史奈
優 秀 賞	福島県立福島明成高等学校	まていな牛作りを目指して～私の目指す和牛の繁殖経営～	佐藤 隆人
優 秀 賞	岩手県立盛岡農業高等学校	エコフィードの可能性と私の夢	井上 爽和

意見発表会 分野Ⅱ類

最優秀賞	福島県立相馬農業高等学校	ベンケイロボ焼きから学んだ価値の創造	佐々木海渡
優 秀 賞	山形県立置賜農業高等学校	紅花の可能性は無限大 ～魅力あふれる商品開発から学んだこと～	佐藤 未悠
優 秀 賞	宮城県農業高等学校	藁が紡ぐ MIRAI	星 碧虎
優 秀 賞	岩手県立水沢農業高等学校	ちょっとした手間で美味しさアップ～素材の味を活かしたい～	高津寿々加
優 秀 賞	青森県立名久井農業高等学校	リミット	佐藤 玲菜
優 秀 賞	秋田県立金足農業高等学校	皮革と命と未来の話。	小西めぐみ
優 秀 賞	岩手県立花巻農業高等学校	ソバの実でつなぐ地域と私の夢	佐藤 結依

意見発表会 分野Ⅲ類

最優秀賞	宮城県農業高等学校	備えることの大切さを次の世代へ	鈴木 幸
優 秀 賞	福島県立会津農林高等学校	山の都の宝物	大堀 伶
優 秀 賞	青森県立名久井農業高等学校	明るい農村に生きるために	坂本 優稀
優 秀 賞	秋田県立大曲農業高等学校	全ての人に食育を	中嶋 啓羽
優 秀 賞	岩手県立花巻農業高等学校	伝統を担う一員として	瀧澤 音和
優 秀 賞	山形県立置賜農業高等学校	人と繋ぐグリアと伝統	伊藤 南
優 秀 賞	岩手県立水沢農業高等学校	人馬一体～心分かち合うパートナー～	藤村 実祐

クラブ活動紹介発表会

最優秀賞	福島県立岩瀬農業高等学校	岩農スキーム～未来をつくる New Power ～	熊田 奈々 他
優 秀 賞	岩手県立盛岡農業高等学校	盛農クラブ員への道しるべ	木戸場 葵 他
優 秀 賞	青森県立三本木農業恵拓高等学校	未来への軌跡～後世に繋ぐ農フ活動～	佐々木麻衣 他
優 秀 賞	山形県立上山明新館高等学校	改革元年～躍進 今私たちにできること～	濱窪 桃香 他
優 秀 賞	宮城県伊貝高等学校	伊貝高校 ONE TEAM プロジェクト	佐藤 拓真 他
優 秀 賞	岩手県立花巻農業高等学校	「一人一人が農業クラブ員としての自覚を持ち、主体的に農業クラブ活動に取り組むためにはどのような活動を行えばよいか」 地域と歩むイーハトーブへの道	藤田 唯笑 他
優 秀 賞	秋田県立増田高等学校	ジャンボスイカで大きく広げる主体性の WA	大庭菜津生 他

平板測量競技会

最 優 秀 賞	岩手県立盛岡農業高等学校	阿部 空牙・泉澤 權・齊藤 輝・阿部 清正
優 秀 賞	岩手県立花巻農業高等学校 B チーム	小野寺胡珀・高橋 祐也・柳原 里音・橋本 大翔
優 秀 賞	岩手県立花巻農業高等学校 A チーム	伊藤 雅姫・北舘 寿莉・菅原 もえ
優 秀 賞	秋田県立金足農業高等学校 B チーム	添田 美咲・中川 功暉・菅原 峻矢・金坂 里菜
優 秀 賞 (外部表彰のみ)	宮城県加美農業高等学校	鹿野明日夢・小山 大翔・黒澤 翔夢
優 秀 賞 (外部表彰のみ)	青森県立三本木農業恵拓高等学校	吉田 雄篤・泉 智大・佐藤 陽菜・松林 理子

令和5年度 日本学校農業クラブ東北連盟役員

1 生徒役員

役職名	氏 名	学 校 名	役職名	氏 名	学 校 名
会 長	高橋 里菜	岩手県立盛岡農業高等学校	幹 事	西野 颯	岩手県立盛岡農業高等学校
副会長	佐々木夏妃	秋田県立大曲農業高等学校	//	早野 瑳姫	岩手県立盛岡農業高等学校
監 事	葛西 美風	青森県立柏木農業高等学校	//	池元 大知	岩手県立盛岡農業高等学校
代議員	千葉 妃乃	宮城県小牛田農林高等学校	//	吉田真乃加	岩手県立盛岡農業高等学校
//	富樫 裕馬	山形県立置賜農業高等学校	//	澤村 奏良	岩手県立盛岡農業高等学校
//	佐々木優奈	福島県立会津農林高等学校	//	三浦 悠葵	岩手県立盛岡農業高等学校
幹 事	馬場 史奈	岩手県立盛岡農業高等学校	//	佐々木あづみ	岩手県立盛岡農業高等学校
//	金石 鷹宏	岩手県立盛岡農業高等学校	//	松葉 舜誠	岩手県立盛岡農業高等学校

2 成人役員

役職名	氏 名	学 校 名
代 表	菊池 郁聡	岩手県立盛岡農業高等学校
副 代 表	渡辺 勉	秋田県立大曲農業高等学校
監 査 委 員	鳴海 裕徳	青森県立柏木農業高等学校
顧問代議員	菅原慎太郎	秋田県立大曲農業高等学校
//	浅野 武己	宮城県小牛田農林高等学校
//	齋藤 慎吾	山形県立置賜農業高等学校
//	吉田 勇人	福島県立会津農林高等学校
事 務 局 長	北田 貴紀	岩手県立盛岡農業高等学校
事 務 局	似内 太一	岩手県立盛岡農業高等学校

令和5年度 日本学校農業クラブ東北連盟現況報告

令和5年5月1日現在

役職名	学 校 名	ク ラ ブ 員 数			単ク数
		男	女	計	
青森県	青森県立柏木農業高等学校	598	433	1,031	4
岩手県	岩手県立盛岡農業高等学校	544	560	1,104	9
宮城県	宮城県小牛田農林高等学校	1,014	657	1,671	12
秋田県	秋田県立大曲農業高等学校	717	670	1,387	6
山形県	山形県立置賜農業高等学校	330	324	654	6
福島県	福島県立会津農林高等学校	1,191	1,246	2,437	10
		4,394	3,890	8,284	47
		0	0	0	0
		0	0	0	0
		4,394	3,890	8,284	47